



長崎運輸支局 船舶検査官
令和5年度 採用（船舶系技術職員）

【略 歴】

令和5年4月 長崎運輸支局

※所属、職名、内容などは令和5年6月現在のものです。

現在の仕事内容

- ・検査事務（提出された申請書・手数料の確認、証書の交付等）
- ・就航船の定期的な検査（5年毎の定期検査、定期検査と定期検査の間にある中間検査）
- ・新造船の設計審査、製造検査（溶接箇所の施工確認等）
- ・船舶の測度にかかる業務の一部

Q. 船舶系技術職員を志望した理由は？

学生時代に水産・船舶を専攻しており、航海士という選択肢があることを知りました。実際に乗組員として働いていく中で、フェリーだけでなく他の船種に対しても関わりたい気持ちが湧いてきました。そのような気持ちの中で、造船所で検査を行っている船舶検査官の姿を見て、学生時代に学んできた専門知識・乗組員として現場で培った経験を大いに活かせる点から船舶系技術職員を志望しました。

Q. 職場の雰囲気は？

公務員は勤務時間、勤務態度などが厳格に決まっているイメージがありましたが、入局後の研修や実際に働いてみてそれほど堅苦しいものでないことが分かりました。年次休暇も取得しやすく、単身赴任をしている上での相談にも乗ってくれます。上司も気さくで、支局内に若手が多く他の部署ともコミュニケーションが取りやすい環境のため、とても働きやすく感じます。

Q. 社宅（公務員宿舎）の住み心地は？

築20年以上と聞いたときはどれ程のものか覚悟しましたが、思っているほどではなかったです。退去時には原状回復をするので綺麗に手入れされています。ただ、エアコン・コンロ・ウォッシュレットなど賃貸で普通に設置されているようなものはないので、欲しい人は購入する必要があります。

官署まで自転車で25分(4.5km)とそれほど遠くもなく、近所にはショッピングセンターもあるので住みやすいで

す。（長崎なので坂は急ですが…）

Q. お昼ご飯はどうしていますか？

現場検査のない日は官署内に売店があるので、弁当を買っています。野菜は少ないので家からタッパーに野菜を入れて持って行っています。現場検査のある日は出先で済ませるか、コンビニで買って帰ります。

Q. 1日の仕事の流れ

8:30 出勤

メールチェックや現場検査の内容を確認

9:00 移動

検査のため造船所や工場などの現場へ官用車や徒歩で移動

12:00 昼休み

現場から戻り昼食

官署内の売店で弁当を購入してデスクで食事

13:00 事務処理・現場検査業務

午前の現場検査の事務処理

午後から検査があれば現場へ移動

15:30 事務処理・検査の準備

現場検査の事務処理、上司と翌日の予定の確認

翌日の検査の準備（船舶の情報・検査内容の確認）

17:15 退庁



Q. 就職活動中の皆さんへのメッセージ

最初に自分がどのような仕事をしたいのかを見つけ出してください。その仕事が合わなければ転職を考えるかもしれないですし、気に入れば一生同じ仕事を続けるかもしれません。そのためには、その仕事について出来るだけの情報を集めて下さい。パンフレットやインターネットだけでなく、実際に働いている人に話を聞くことも大切です。

船舶系技術職員は船の知識がある人だけでなく、全くなかった人もいます。船の基礎知識や必要な専門知識・技能の研修も多くあるので、入局して勉強することが出来ます。ぜひ船舶系技術職員も考えてみて下さい。